

5 バス

現 状

バスは、より細かな面的エリアをカバーする交通機関であり、現在、県内では福島交通、新常磐交通、会津乗合自動車、JR バス東北、JR バス関東の 5 社が営業している。輸送人員は、モータリゼーションの進展等により減少を続けており、県内のバス輸送人員の推移をみると、平成 16 年の輸送人員は昭和 61 年の 5 割以上にまで落ち込んでいる。

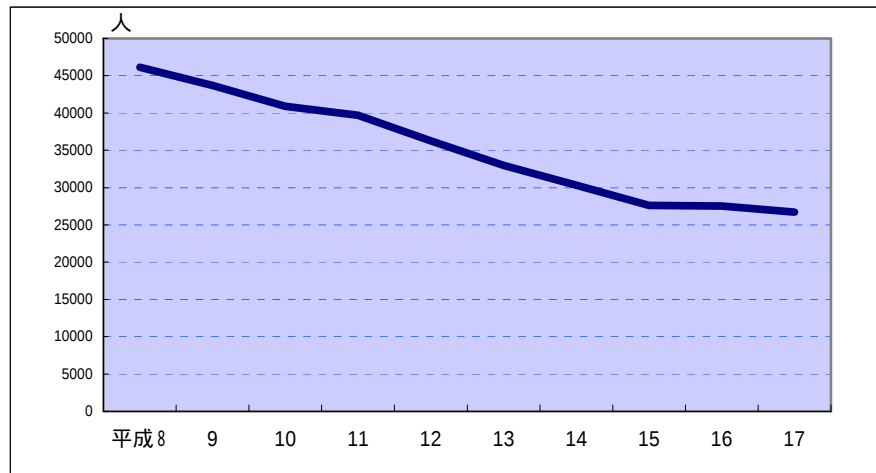
現状のまま維持すれば、より一層のバス利用者の減少が危惧され、すでに過疎地域では利用者の減少により、事業者による維持が困難になっている路線もある。さらに都市部においても、交通渋滞等によりバスの定時制が失われ、利用者の信頼が十分に得られない状況も出てきている。

課 題

バスは、広大な県土を持つ本県にとって、交通サービスのシビルミニマムの確保の観点から、その役割は大きく、通勤通学の足として、さらには自ら乗用車を運転することに不安のある人々の日常の移動手段としてその維持が求められている。

したがって、定時制の確保やバス利用の利便性向上等、サービス環境の改善により、その着実な維持・整備を図っていく必要がある。

本県のバス輸送人員の推移(単位:千人)



資料) 福島県統計年鑑

路線バス輸送人員等の推移

年次	路線バス		
	車両数	輸送人員	営業収入
平成11年	968	39,710	10,943,211
12	955	36,239	10,662,571
13	943	32,975	10,096,835
14	949	30,345	9,782,756
15	971	27,630	9,212,077
16	934	27,550	9,179,246
17	925	26,703	8,991,802

資料) 東北運輸局福島運輸支局